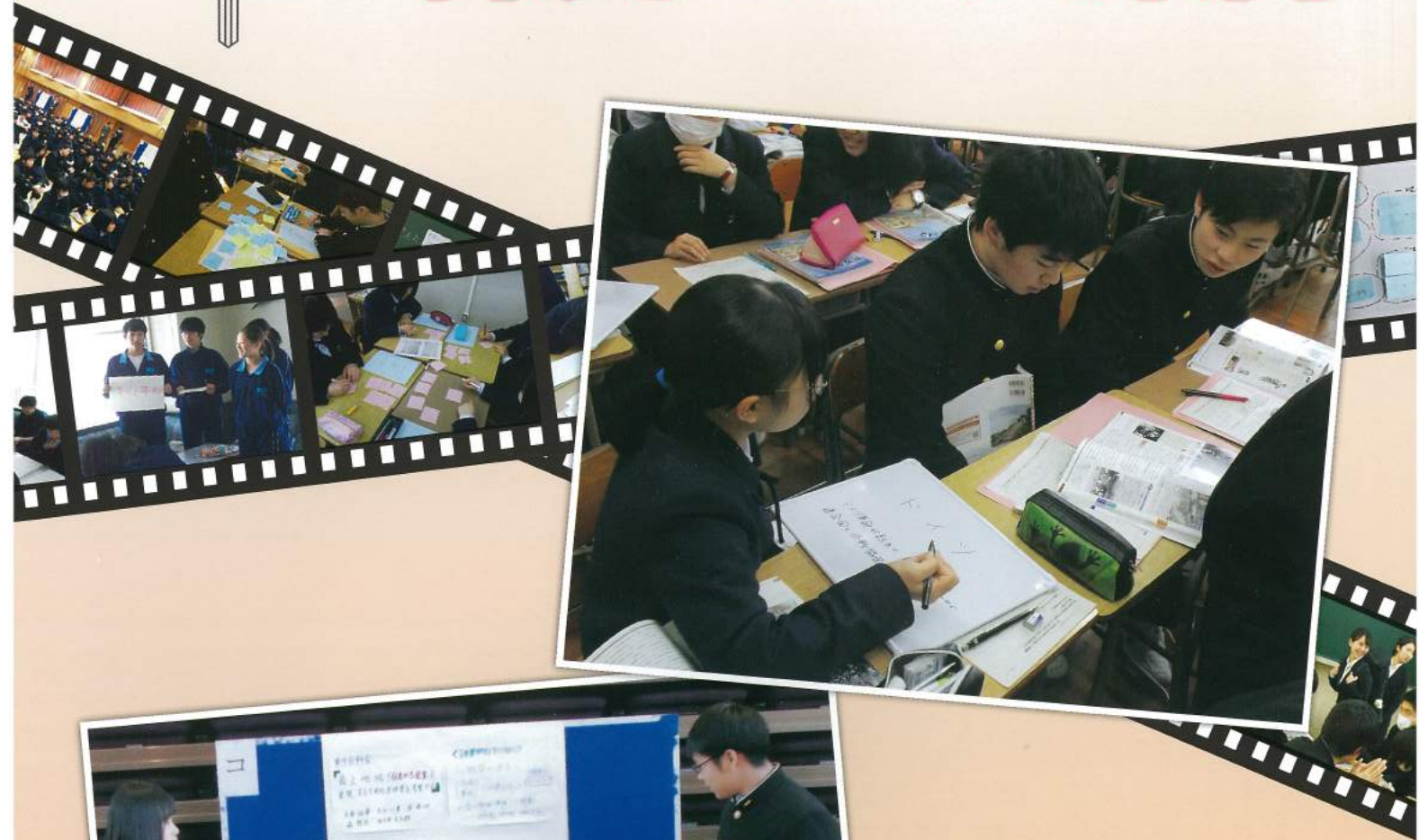


# 山形県立新庄北高等学校 探究コース案内



**Think to Move!**

## 地域の人々とつながる

積極的に地域社会や人々とつながり、他者と協働して課題に立ち向かうことができるたくましい生徒を育てます。

# つながる、つなげる

## 知識をつなげる

十分な知識・技能を持ち、それらを基に解を見いだすための「思考力・判断力・表現力」を持つ生徒を育てます。

### なぜ、探究コースなのか？

#### 急激な社会の変化

- グローバル化・高度情報化社会の進展
- 知識基盤社会の到来  
(知識基盤社会は変化が激しく、常に新しい未知の課題に試行錯誤しながらも対応することが求められます。)

#### これから求められる“力”

- 答えが一つに定まらない問題に「解」を見出し、新たな価値を創造していく力
- 「十分な知識・技能」はもとよりそれらを基盤として解を見出していく「思考力・判断力・表現力」
  - ・これらの基となる「主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度」

#### 探究コースの学び

自ら考えることを重視したハイレベルな授業や総合的な探究の時間における「地域理解プログラム」・「課題研究」で地域の人々と一緒に学び、仲間と協働する中で、幅広い知識・技能を身につけ、思考力・判断力・表現力を磨いていきます。課題発見力・解決力、リーダーシップを育み、一つ上、一歩先の進路実現を目指します。

#### ●身につけたい力●

新しい時代に求められる**探究力**  
大学等での学びを支える**自ら学ぶ力**

### 1年次 知っていることを増やす

#### ●地域理解プログラム

実際に地域で働く本気の大人との対話を通して体験的に学ぶことで、生まれ育った地域の課題を認識します。その後、その課題について高校生ならではの視点で解決策をまとめ、発表します。この学習を通して、深く考える思考力やまとめる力、プレゼンテーションスキルの基礎を身につけるとともに、地域の目線から物事を考えることのできる人材への成長を目指します。



### 2年次 知っていることを深める、使ってみる

#### ●地域理解発展研究

2年次前半では、1年次で認識した地域課題に対し、学問的な角度から解決策を研究し、地域を元気にできるような提案を、企業や団体に提示します。この学習を通して、課題解決に向けたスキルや研究手法スキルを身につけるとともに、地域発展に貢献できる人材への成長を目指します。



#### ●課題研究

2年次後半では、地域理解発展研究で身につけた対話型学習スキルや課題解決スキルを活かし、生徒一人一人の興味に応じて学問研究を行っていきます。この学習を通して、地域からグローバルまで幅広いフィールドに関して、先行研究調査はもちろん、仮説立案・実証・考察へと発展させることで大学での専門的な学びへとつなげていきます。



### 3年次 やって来たことを未来につなげる

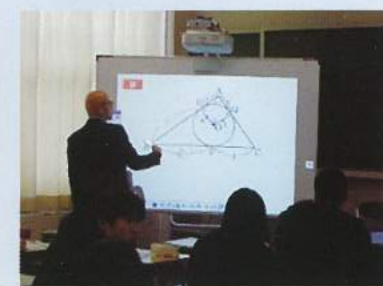
#### ●研究発表実践

地域理解プログラムや課題研究で学んだ内容を再考し、より専門的な内容へと磨き上げ、人に伝える発表実践を行います。この学習を通して、的確に情報や自分の意見を伝える豊かな表現力を養い、各種コンテストやAO入試、大学での発表に対応できるプレゼンテーションスキルを身につけます。また、卒業後の生活を生徒一人一人が明確にデザインし、進路希望達成に向けた意志を強いものにします。



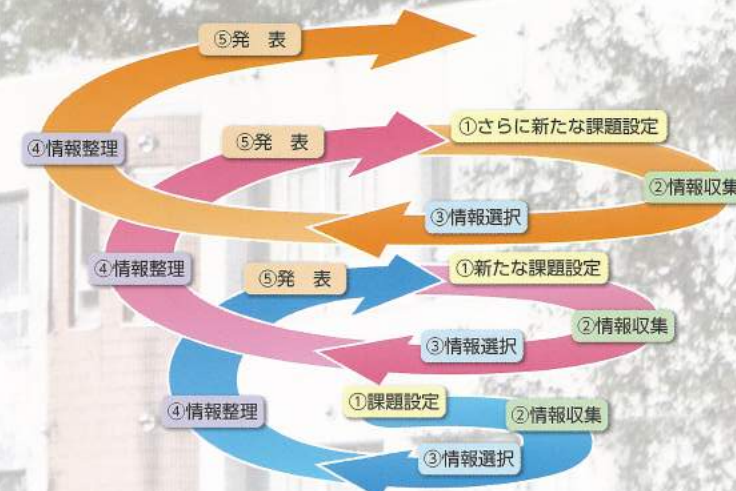
### ハイレベルな授業

探究コースならではの専門科目や、多様な進路希望に対応した学校設定科目で専門的な知識や技能の習得を目指します。また、各教科では、アクティブ・ラーニング等、新しい授業形態の研究を進めています。



### 地域理解プログラム、課題研究での学びのイメージ

自ら見つけた課題について、知識・技能と思考力・判断力・表現力を総合的に活用しながら、主体的・協働的に課題解決に取り組みます。



上の①～⑤を、**ふりかえり**を行いながら繰り返すことによって、将来の変化に柔軟に対応できる力と姿勢を育みます。また、効果的に学習を進めるために、学校独自のテキスト「探究学習ノート」を作成し利用していきます。

# 探究コース Q & A

## Q1 探究コースと一般コースとの違いは何ですか？

両コースとも、ベースとなる教科学習にしっかりと取り組みます。それに加えて、探究コースでは理科や数学、英語等でより専門的な内容を学習できます。また、2年次で総合的な探究の時間を週2時間とすることで、地域の現状や課題の理解をさらに深めた課題研究に取り組みます。

## Q2 大学進学のためには探究型学習よりもこれまでの学習方法で勉強していたほうが有利なのは？

2021年度入試より大学入学者の選抜方法が大きく変わります。単に知識の量をはかるだけではなく、「思考力・判断力・表現力等」を一層重視したテストの導入や、面接などで「高校での学びと大学で研究したいことのつながり」に注目することが検討されています。これらの力は、まさに探究型学習を通して身につけていくことができる力です。

## Q3 探究コースと一般コースを併願することは可能ですか？

第2志望で一般コースを志望することができます。第2志望の有無は合否に全く影響しません。ただし、探究コースを第2志望にすることができないので注意してください。

## Q4 探究コースに入学するために、何を頑張れば良いのですか？

一般コースにも言えることですが、まずは中学校までの学習内容を十分に定着させることが必要不可欠です。さらに、授業で理解した内容を友達に説明するなどして、「深く考え、明確にまとめ、説明する力」のトレーニングに挑戦してみてください。

## 新庄・最上LINKプロジェクト 始動！

新庄北高校は2019年度より3年間、文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」実践校に指定されました。この事業は新庄・最上LINKプロジェクトと命名され、生徒たちは獲得した探究スキルを地域で発揮し、さらに磨きをかけています！

【地域の人々をつながる「地域連携部」】



【地域で学ぶ「ジモト大学」に参加する生徒】



### ◎ “LINK” は “つなぐ” だけではありません！

- L : Local area academic inquiry : 地域を学問的に探究
- I : Information communication technology : 情報伝達技術
- N : New career education : 新しいキャリア教育
- K : Key to success : 成功へのカギ

この4つのテーマのもと、地域と連携することで、探究を深められるカリキュラム開発を進めています。

山形県立新庄北高等学校  
TEL.0233(22)6023(職員室)  
FAX.0233(22)4961  
<http://www.shinjokita-h.ed.jp>

